

特別な支援を必要とする子供への就学前から学齢期、社会参加までの切れ目ない支援体制整備

目的

特別な支援を必要とする子供に対し、就学前から社会参加までの適切な指導や支援を行うために、医療、福祉、労働などの関係機関との連携体制を整備する。

- 1 卒業後の就労・自立・社会参加も含めた地域支援のための連携体制
- 2 小・中・高における学年間及び異校種間の確実な引継ぎなどのための個別の教育支援計画の作成・活用
- 3 社会福祉施策や障害者雇用施策との連携強化



成果

- 1 名古屋市特別支援教育連携会議を開催し、情報交換を行うことができた。
- 2 個別の教育支援計画の作成・活用の仕方について、リーフレット「名古屋の特別支援教育」で周知することで、作成率を向上させることができた。
- 3 (1) 職業自立推進運営委員会を開催し、名古屋市立特別支援学校の高等部生徒の就労支援や連携を強化することができた。
(2) 就労支援コーディネーター2名及び通級指導定着支援員1名を配置して就労支援や通級指導について実行力のある施策を展開することができた。

事業内容

1 名古屋市特別支援教育連携会議

教育委員会、福祉部局、教育センター、療育センター、発達障害者支援センター、当事者団体、学校関係者、労働関係者のメンバーで開催した。「名古屋市の就学状況等」「個別の指導計画・個別の教育支援計画作成率」「特別支援学校高等部卒業後の進路」などについて情報交換をした。また、名古屋市の特別支援教育の施策、高等特別支援学校開設などについて協議をした。

2 リーフレット「名古屋の特別支援教育」

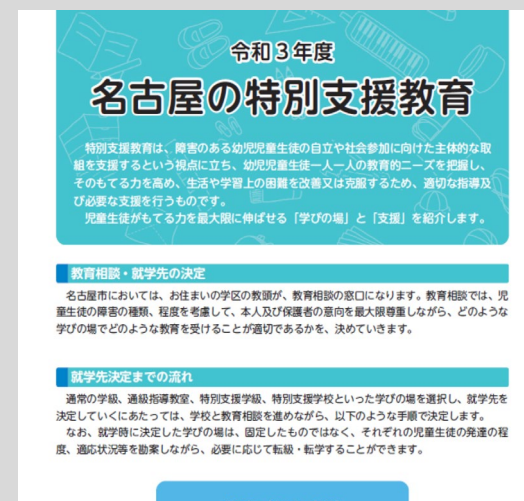
子供がもてる力を最大限に伸ばせる学びの場として、特別支援学校、特別支援学級、通級指導教室を具体的に紹介した。学校生活における支援として、学校生活介助アシスタント、宿泊行事ヘルパー、発達障害対応支援講師、発達障害対応支援員、医療的ケアの必要な子供への看護介助員等についても紹介した。さらに個別の教育支援計画の活用について周知した。

3(1) 職業自立推進運営委員会

教育委員会、労働関係部局、企業関係者、学校関係者のメンバーで開催した。「守山養護学校産業科の取り組みと就労の見込み」「特別支援学校高等部普通科の就労の状況と取り組み」について情報交換をした。また、円滑な一般就労と定着のために協議をした。

(2) 連携支援コーディネーター

就労支援コーディネーター2名を特別支援学校に配置し、高等部生徒の就労支援を行った。また、通級指導定着支援員1名を通級指導の拠点となる小学校に配置し、複数校において巡回指導等を実施した。



リーフレット「名古屋の特別支援教育」